お客様に寄り添い、社会を支える

JUKI

株主の皆様へ

第112期 中間報告書

2026年1月1日～ 2026年6月30日

Building Sustainable JUKI

2026年上期 業績ハイライト	売上高 438億46百万円 前年同期比△525百万円 （通期業績予想900億円）	営業利益 21億69百万円 前年同期比+2,077百万円 （通期業績予想45億円）
	経常利益 8億2百万円 前年同期比+1,816百万円 （通期業績予想20億円）	当期純利益 4億94百万円 前年同期比+355百万円 （通期業績予想15億円）

お客様に寄り添い、社会を支える

代表取締役社長
成川 敦

2024年下半期以降、着々と業績基盤強化が進んでおり、**今年上半期まで4半期連続で前年同期実績を上回る業績**を挙げることができました。

現今の状況下、様々なリスク要因が経営に影響を及ぼしうる局面ですが、以前に比して確実にリスク耐性が強化されており、**通期見通し達成に自信**をもっています。

業績牽引の中心は縫製事業です。収益重視への戦略転換とそれに伴う生産効率化により、利益率が飛躍的に改善しています。地域的にも相対的に利益率の低い中国・アジア地区での利益率向上が徐々に浸透しつつあります。

産業装置事業は製品と地域を絞った**「グローバルニッチ戦略」**の浸透に時間がかかっていますが、構造改革完了により今年度第4四半期からの黒字化を展望しています。

受託事業は**AI・データセンター関連の受注増**が寄与し、計画を上回る利益計上を見込んでいます。また、この分野では現時点での収益寄与は小さいものの、昨年の本欄でも報告させて頂いた**航空宇宙関連の受注が好調**で、JUKI第3の柱の有力候補の一つと考えております。

直近で金利高が大きな変動要因になっています。営業キャッシュフローによる**有利子負債削減スピードを上げ**て対応して参ります。

引き続き、みなさまからの一層のご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

業績ハイライト

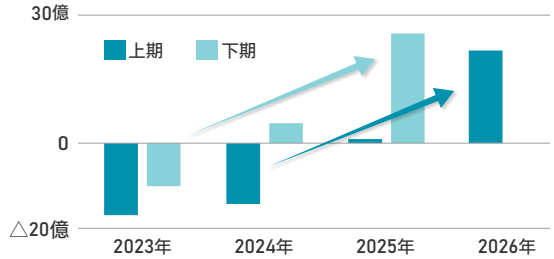
（単位:百万円）

		2025年度 上期	2025年度 下期	2026年度 上期	前年同期比 増減額
連結	売上高	44,372	44,388	43,846	△525
	営業利益	92	2,570	2,169	+1,173
	経常利益	△1,014	2,427	802	+1,816
	当期純利益	139	1,259	494	+355
縫製	売上高	33,891	32,725	32,669	△1,221
	営業利益	1,246	2,424	2,221	+975
産装	売上高	6,141	6,951	6,767	+626
	営業利益	△861	48	△273	+588
受託	売上高	4,182	4,571	4,273	+91
	営業利益	△257	102	223	+480

2026年上期実績

業績基盤の強化に継続して取り組んできた結果、当上半期まで4半期連続で前年同期実績を上回る業績を実現しました。

【営業利益の推移】



縫製事業

収益重視への戦略転換、それに伴う工場規模の適正化による生産効率向上、さらに中国・アジア地域における収益性改善の進展により、収益力は着実に向上しています。その結果、営業利益率は前年同期比3.1ポイント改善し、大幅な利益率向上を実現しました。

産業装置事業

「グローバルニッチ戦略」の浸透に時間を要しているものの、構造改革の効果により赤字幅は大きく縮小しています。なお、欧州での構造改革の完了により、第4四半期からの黒字化を見込んでいます。

受託事業

AI・データセンター、宇宙関連分野における受注拡大が寄与し、利益は計画を上回る水準で推移する見込みです。また、昨年度下半期以降は黒字を継続しており、収益基盤の改善が着実に進んでいます。

財務ハイライト

（単位:百万円）

	2025年度 12月末	2026年度 6月末	2025年末比 増減額
自己資本比率	26.8%	29.7%	+2.9%
売上債権	23,887	21,893	△1,994
在庫	50,521	49,468	△1,053
有利子負債	67,932	60,149	△7,783

自己資本比率

資本効率の改善に取り組んだ結果、自己資本比率は30%近くまで回復しました。

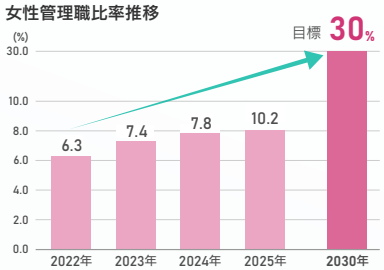
有利子負債

売上債権、在庫の圧縮等に努めた結果、前年同期比78億円減少し、601億円となりました。

TOPICS

女性活躍推進企業として「えるぼし認定」3段階目（3つ星）を取得

女性活躍推進に関する取り組みが評価され、厚生労働省の「えるぼし認定」において最高位の3つ星認定を取得しました。



▲人事グランドデザインプロジェクトメンバー

JUKIは今後も、女性活躍をはじめとするDEI（Diversity, Equity & Inclusion）の推進に一層取り組み、「社員のハッピー」の実現に向けて、社員一人ひとりが活躍し、多様な人財がその能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進してまいります。また、えるぼし認定企業の中でも特に優良な企業として認定される「プラチナえるぼし」の取得を目指してまいります。

公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟へミシンを贈呈

公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟（SAJ）へ、工業用ミシンおよび職業用ミシンを贈呈いたしました。

▲連盟会長 原田雅彦氏、JUKI代表取締役社長 成川

▲競技本部長 河野孝典氏、JUKI専務執行役員 石橋

当社のミシンは、スキージャンプ競技用ウェアの製作や補修をはじめ、選手を支える様々な場面で活用されています。

トップアスリートの挑戦をJUKIのミシンが支えています！

スキージャンプスーツの製造現場で活躍する当社ミシン（写真提供：ミズノ株式会社）▶

投資家向け説明会の実施報告

8月24日に機関投資家向け決算説明会、9月2日に個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。両説明会では多くのご質問をいただきましたので、その中から主なご質問と当社の回答をご紹介いたします。 ※掲載内容は質疑応答の要旨です。

個人投資家向け会社説明会の動画リンクはこちら

Q 株主還元方針は?

A 社員・会社・株主の皆様への平等な利益分配、すなわち1/3ずつの利益分配を原則としております。今後も、この基本方針に沿った経営を継続していく予定です。

なお、今期の配当につきましては、期初に公表した見通しどおり1株当たり15円を予定しております。

Q 縫製事業の成長戦略について教えてください

A アパレル、ノンアパレル分野でミシン需要拡大が見込まれており、また工業用ミシンの用途そのものも広がっています。そのような市場機会を着実に取り込んでいくことが重要であり、その鍵となるのがミシンとIoTを融合したソリューション提案です。

現在、この取り組みは一定の成果を上げており、中国メーカーとの競争が激化する中においても、多くのお客様に引き続きJUKIをご支持いただいています。
これは、工場全体のスマートファクトリー化に向けた当社の取り組みがお客様から評価されている結果であると考えています。

今後もこうした取り組みをさらに進化させ、中期経営計画の柱である縫製事業の成長を加速していきたいと考えています。

Q 産業装置のグローバルニッチ戦略について教えてください

A 特殊形状部品や大型・重量部品の実装、挿入機、自動倉庫など、当社の技術優位性が生かせる領域に注力する戦略です。

特に、AIデータセンター向けサーバーや蓄電池関連の市場を重点分野、米国・中国を重点市場と位置付け、収益力の向上に取り組んでまいります。

会社情報（2026年6月30日現在）

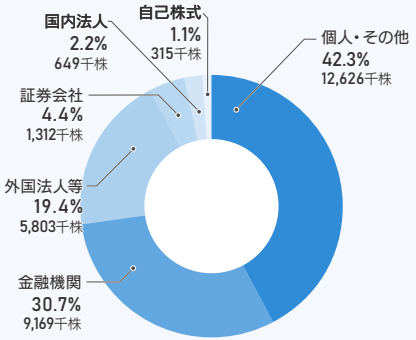
会社概要

商 号	JUKI株式会社	決算期	12月
創 立	1938年12月15日	営業品目	工業用ミシン／産業装置／家庭用ミシン他
資本金	180億4,471万円	従業員数	4,020名（連結）
本 社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1	連結子会社数	19社

役員

代表取締役社長	成川　敦
取締役常務執行役員	安西　洋
取締役常務執行役員	橋本　圭一
社外取締役	二瓶　ひろ子
社外取締役	中野　秀代
社外取締役	片山　寛太郎
常勤監査役	寒川　倫成
社外監査役	竹中　稔
社外監査役	米山　貴志
上席専務執行役員	新田　実
専務執行役員	石橋　次郎

所有者別株式分布状況



株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	29,874,179株
株主数	13,732名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,561	12.05
株式会社みずほ銀行	938	3.17
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG（FE-AC）	812	2.75
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	754	2.55
日本生命保険相互会社	732	2.48
朝日生命保険相互会社	569	1.92
第一生命保険株式会社	511	1.73
MSIP CLIENT SECURITIES	470	1.59
明治安田生命保険相互会社	460	1.56
みずほ信託銀行株式会社	401	1.36

JUKI株式会社
https://www.juki.co.jp/

〒206-8551
東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL：042-357-2211

◀ 株主・投資家情報サイトのご案内
https://www.juki.co.jp/ir/